

第一生命サラリーマン川柳コンクール

サラ川で見る「日本のデジタル化」

第一生命保険株式会社
第一生命経済研究所

一生涯のパートナー

第一生命

 Dai-ichi Life Group

はじめに

サラ川^{せん}で見る「日本のデジタル化」

「第一生命サラリーマン川柳（略してサラ川）」は、1987年にスタートし川柳を通じて「世相」や「人々との関わり」を表してきました。今回は、私たちの社会、生活、仕事に大きな関わりがあるデジタルライゼーションをテーマとしています。デジタルライゼーションは日本語に訳すとデジタル化を意味します。このテーマを語るうえでインターネットの存在は欠かせません。1969年にアメリカの複数の大学を結んだARPANETと呼ばれる小さなネットワークが始まりましたが、約半世紀を経て世界中がインターネットを通じていつでもどこでも繋がれる世界になりました。インターネットを活用したデジタルライゼーションは、様々な新しい価値を生み出しています。日々の仕事や生活に欠かせないスマホやパソコンなどの情報端末やコミュニケーションの必須アイテムとなったSNSは、デジタルライゼーションの産物と言えるでしょう。また、最近ではAIやドローンといったSF漫画に描かれていたテクノロジーが登場しています。飛躍的に進化するデジタルライゼーションが人々にもたらす喜怒哀楽を、川柳から紐解きます。

本誌に登場するデジタルイゼーションに関連する主な動き

1989年	ティム・バーナーズ・リーがHTML言語を提唱
1991年	世界初のWebサイトが公開
1993年	画像表示が可能なWebブラウザ Mosaicがリリース
1995年	Windows 95発売、Internet Explorerリリース
1996年	Yahoo! JAPANがサービス開始
1998年	Windows 98発売
1999年	NTTドコモがiモードを開始
2000年	Googleが日本で検索サービスを開始
2001年	Yahoo! BBがADSLを開始
2004年	mixiがサービスを開始
2005年	YouTubeがサービスを開始
2008年	AppleがiPhoneを日本で発売開始、Facebook、Twitterが日本語版サービスを開始
2010年	AppleがiPadを発売
2011年	LINEがサービスを開始
2013年	メルカリがサービスを開始
2014年	Instagramが日本語版サービスを開始
2015年	AppleがApple Watchを発売
2016年	ポケモンGOを配信開始
2018年	PayPayがサービスを開始
2019年	Yahoo! JAPANとLINEが経営統合を発表

ドットコム どころが混むのと 聞く上司

ネット不安 (第14回 2000年)

熱心に 仕事と思えば ネット株

サボリーマン (第19回 2005年)

一日中 ネットクリック エア仕事

コバヤ氏 (第26回 2012年)

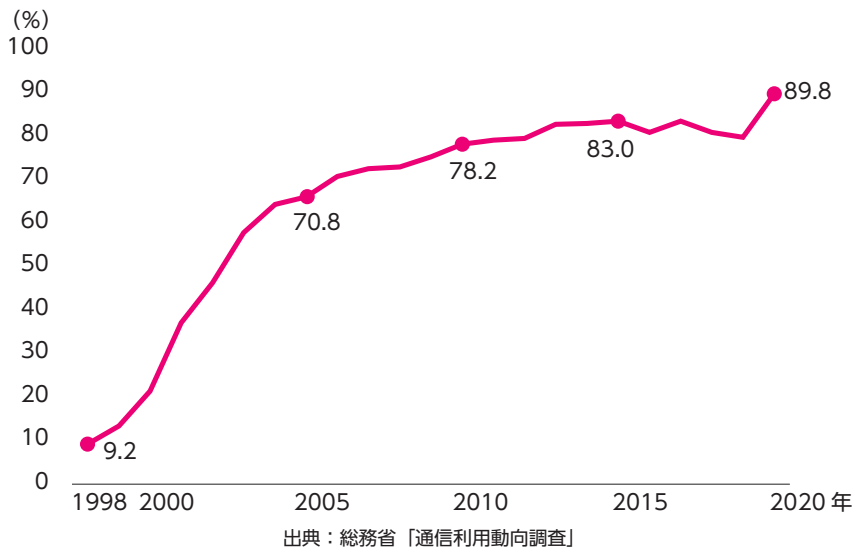
ネット見て ふるさと選ぶ グルメ通

やっさん (第30回 2016年)

パソコンを 上司に教え 日々多忙

新入社員 (第33回 2019年)

インターネットの利用状況（個人）の推移



インターネットを使った様々なサービスが拡大しています。家でくつろぎながら動画を見たり、通勤中にニュースを読んだり、ゲームをする人も多いようです。また、会社においては、パソコンを使って調べものをする際に、インターネットは無くしてはならない存在となりました。1998年のインターネットの利用状況は9・2%に留まっていましたが、2020年にはなんと89・8%と約10倍に成長を遂げています。インターネットの爆発的な普及に伴い、川柳からは、様々な活用方法、思いが垣間見られます。足元のコロナウイルス感染拡大と5G（第5世代移動通信システム）の商用サービス開始が重なり、インターネットを活用したオンラインサービスは多様化していくでしょう。今後創造されるサービスは、私たちにどのような景色を見せてくれるのか期待が膨らみます。

ケイタイを 入れたかばんを 不携帯

ケンケン (第12回 1998年)

「いま電車」 だったらすぐ切れ そのケータイ

小心童子 (第14回 2000年)

携帯に やつと慣れたら 皆スマホ

まめまろ (第25回 2011年)

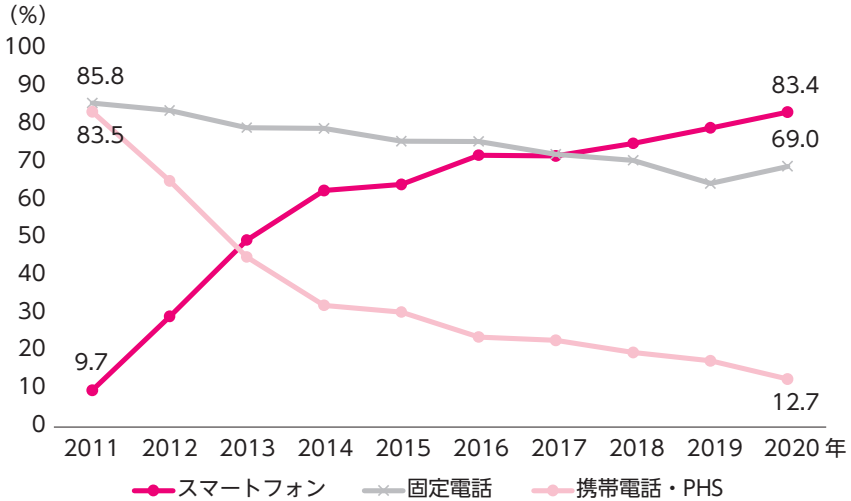
薄くなる スマホと俺の 髪の毛と

いたずら耕介 (第27回 2013年)

メモを取れ 言えばスマホを 部下が出し

石笑 (第33回 2019年)

スマートフォン、携帯電話・PHS、固定電話の保有状況（世帯）



出典：総務省「通信利用動向調査」

令和の時代を迎え、スマートフォンを保有している世帯の割合は、2011年の9・7%から大きく進展し、2020年は83・4%となりました。一方、2020年時点の固定電話の保有率69・0%、携帯電話・PHSの保有率12・7%と保有状況は低下の一途を辿っています。固定電話は永らく通信機器の主役でしたが、2018年を境にその座をスマホに譲っています。

スマホがここまで利用されるようになった理由として、いつでもどこでも使えること、軽量で持ち運びに適していること、仕事や生活の中で簡単に使えるアプリがスマホに搭載されたことが挙げられるでしょう。2008年に初代iPhoneが登場し、急速に進化を遂げたスマートフォンに対する思い、考え方は、世代間によって大きく異なり、戸惑いや驚きを詠む川柳が多いようです。

ツイッター 軽い気持ちで 重い罪

しんちゃん之母 (第25回) 2011年)

辞めますも SNSで 済ます部下

旧新人類 (第31回) 2017年)

間違えた! 上司へライン 「愛してる」

みゆな (第31回) 2017年)

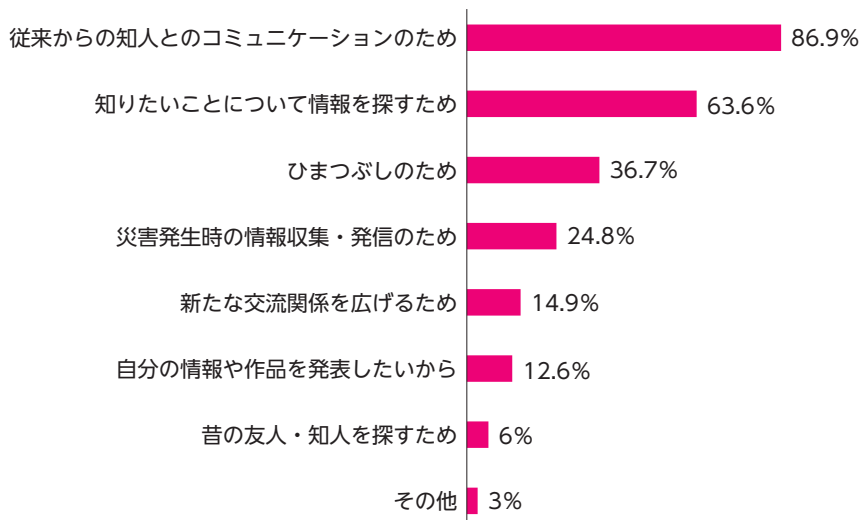
父からは ライン見たかと 電話来る

アカエタカ (第31回) 2017年)

部下休む インスタ上では 元気そう

中間管理職 (第33回) 2019年)

ソーシャルネットワーキングサービスの利用目的



出典：総務省「通信利用動向調査」

SNSは、インターネットを介して、人間関係を作れるサービスを意味します。主な利用目的は、「知人とのコミュニケーションのため」が最も多く、その後「情報収集」や「ひまつぶし」と続きます。会社との連絡用に使っている人も多く、退職申し出をSNSで行う猛者も現れました。最近では、文字だけでなく、画像や動画を投稿することも簡単にできるSNSが登場し、「インスタ映え」と言った流行語が生まれました。

便利なサービスである一方、配慮を欠いた投稿が拡散してしまい炎上するケースや、特定個人に対する誹謗中傷は社会問題に発展するケースも。SNS利用にあたっては、投稿内容を閲覧する相手を思いやる気持ちが必要になります。川柳からも世代間でのSNSに対する思い、使い方の違いが垣間見られます。みなさんはどのようにSNSを利用されていますか？

妻の勘

エーアイ
A Iよりも 優れてる

待機板星 (第30回) 2016年)

A Iに

話し掛けられ 会釈する

エミテン (第31回) 2017年)

A Iに

俺の未来を 訊ねたい

まさあき (第32回) 2018年)

人事異動

オレの後任 人工知能

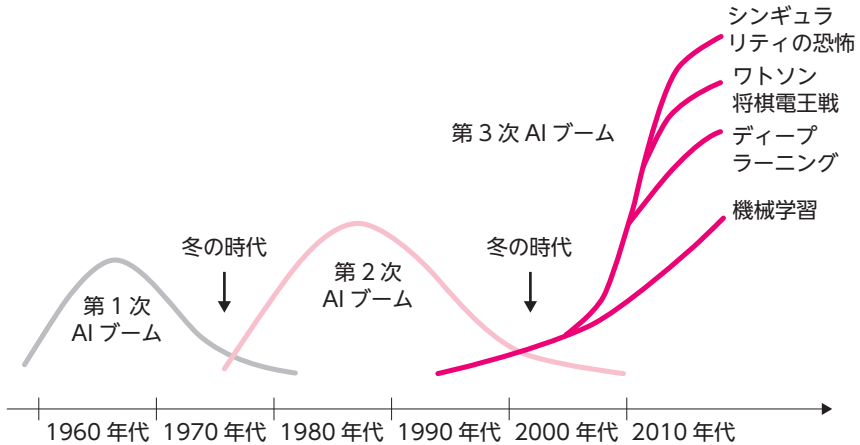
A. I. (第32回) 2018年)

愚痴を言う

相手はA I スピーカー

KENZ (第33回) 2019年)

AI（人工知能）の歴史



出典：『人工知能は人間を超えるか ディープラーニングの先にあるもの』
松尾 豊（著）KADOKAWA 発行

AIは日本語で人工知能を意味します。川柳からは、職場や家庭においてわからないことをAIに訊きたい、人間の方がAIより優れているのではないか等のAIに対する様々な思いが詠まれています。AIの歴史は古く、1960年代の第1次AIブームと冬の時代、1980年代の第2次AIブームと冬の時代を経て、第3次AIブームの真っ只中にあります。「三度目の正直」ということわざがありますが、第3次AIブームの後、春の時代を迎えられるのかは大きな関心事となっています。

現在、機械学習やディープラーニングといった新しいAI技術の登場により、将棋やクイズの世界においては、AIの持つ能力は人間を凌駕しています。2045年には「シンギュラリティ」と呼ばれるAIが人間の知能を超える時が来るという予測もあり、AIに期待する気持ちと失望する気持ちが混在しながらAIの進化は拡大していくでしょう。

キヤツシユレス

見栄を張る 昔札束 今カード

カードマン (第5回 1991年)

レジの前 まごつく親に 子はカード

川柳大好き (第18回 2004年)

割り勘で オレだけ現金 そつと出し

ピロリ聖人 (第33回 2019年)

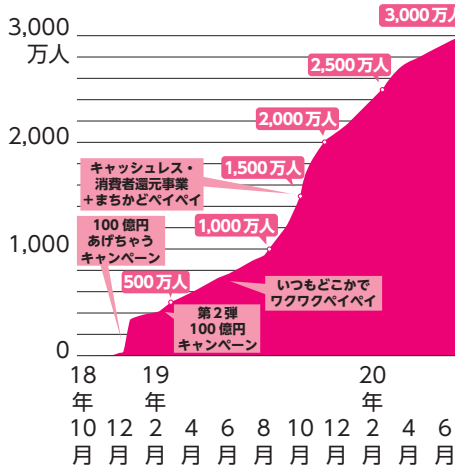
登録が ストレスだらけの キヤツシユレス

デビューじじい (第33回 2019年)

お小遣い LINEでねだり ペイを待つ

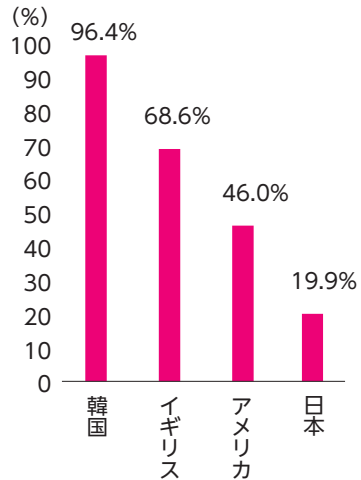
キヤツシユレス派パパ (第33回 2019年)

PayPay 登録者数



出典：PayPay 株式会社

世界各国のキャッシュレス比率比較 (2016年)



出典：経済産業省
「キャッシュレスの現状及び意義」

クレジットカード、デビットカード、電子マネー、QRコードを活用した決済をキャッシュレスと言います。世界各国のキャッシュレス比率を見ると、日本のキャッシュレス比率は約20%に留まっています。政府は、2025年6月までに、キャッシュレス決済比率を倍増し、4割程度にすることを目指しています。

最近では、QRコードを活用した新しいお金のやりとりがされていることが川柳からわかります。例えば、飲食した際のお代の割勘に使ったり、なんとかペイを使ったお小遣いのやりとりなど、以前では考えられなかった発明と言えるでしょう。一方でキャッシュレスを使うことにストレス、恐れ、戸惑いを感じている人もいます。ライフスタイルと同様に多様化するキャッシュレス：あなたが使いやすいキャッシュレスを選択していけばよいのではないのでしょうか。

デジタルライゼーションの流れは、加速し続けることはあっても、後戻りすることはありません。デジタルライゼーションの特徴は、その進化のスピードが速いということに尽きます。進化のスピードを体感いただくために、今回インターネット、AI、スマートフォン、SNS、パソコン、キャッシュレスに関する川柳を紹介しました。

デジタルライゼーションの目的は、人を幸せにし、社会をより良くすることです。デジタルライゼーションを推進する立場の人、利用する人双方が、目的を踏まえた行動をとることが、良い社会を創ることにつながるのです。

デジタルライゼーションの進化に翻弄されることなく、自分自身の身の丈に合った利用をしてみても如何でしょうか。

これからも、サラ川を通じて、デジタルライゼーションに関わる様々な人の見方・感じ方をお楽しみいただければ幸いです。

第一生命経済研究所 担当研究員紹介



柏村 祐 (かしわむら たすく)

第一生命経済研究所

調査研究本部 主任研究員

1994年4月 第一生命保険相互会社入社。

2018年4月 第一生命経済研究所出向。

テクノロジー、イノベーションの調査研究に従事。

人生100年時代の「幸せ戦略」- 全国2万人調査からみえる多様なライフデザイン- ライフデザイン白書2020に寄稿。

<書籍のご案内>

人生100年時代の「幸せ戦略」

(著) 第一生命経済研究所 宮木由貴子 的場康子 稲垣円

東洋経済新報社刊



序章 人生100年時代と「ライフデザイン3.0」

第1章 幸せな「家族」戦略

第2章 幸せな「しごと」戦略

第3章 幸せな「つながり」戦略

第4章 幸せな「消費」戦略

第5章 幸せな「健康」戦略

終章 幸せな「ライフデザイン」戦略

サラ川最新情報はこちら

特設サイトでは様々な情報を公開しています。

サラ川小冊子シリーズはWebでもご覧いただけます。

サラ川特設サイト

<https://event.dai-ichi-life.co.jp/company/senryu/index.html>



川柳、雅号は、すべて応募者の表記にしたがっているため、一部当て字等での表記で掲載しています。
この小冊子の作品の著作権は、すべて第一生命に帰属しています。無断での転載、使用はご遠慮ください。

お届けしたのは…